

# ゆめの里広報誌

## “ゆめの里園芸部新たな挑戦”

～園芸を楽しむ～

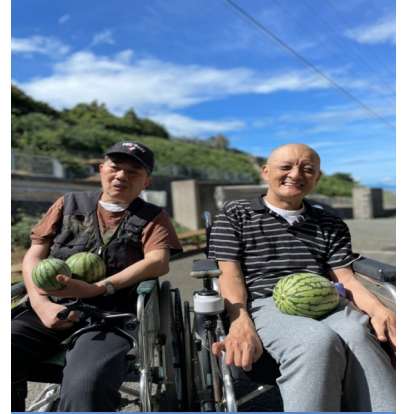
作業療法士 橋本 勇輝



今年、ゆめの里野菜グループの夏は大豊作でした。夏野菜であるオクラ、ピーマン、ミニトマト、キュウリが次から次に実り、皆さん大喜び。オクラとキュウリは収穫時期が遅れると巨大化してしまい「これは食べられるかな?」、「もっと収穫を頑張らないと」など話が弾みます。またピーマンが少し苦手と話されていたご利用者もおられました。実際に食べてみるとこれがまた美味しく、全て完食されていました。さらに今年は初の試みで小玉スイカの苗を3株植え付けました。初めてという事もありご利用者、職員ともに美味しく育てられるのか心配になったので地域のスイカ作りの達人から病虫害対策や受粉の仕方など様々な助言をいただきました。その結果...6個の小玉スイカが実り、糖度計で測定したところ糖度11度で「甘い」、「美味しい」と大好評でした。

お花グループは5月にひまわりやマリーゴールドなど6種類の種と苗を植え付けました。お花グループも初の試みとして去年咲いた高さ2mを超える巨大ひまわりの種を採取したものを植え付けました。上手く成長してほしいとの気持ちを込め外が暑い中でも日々の水やりを頑張りました。その思いが花々に伝わったのか見事に咲き誇り、お花グループ以外のご利用者もひまわりなどを観て楽しみ、四季を感じておられました。また自身で育てたお花を生け花教室で活用し、居室に飾られるご利用者さんもあるなど楽しみ方は様々でした。

園芸活動は野菜や花などの園芸植物を通して、心と体の健康改善を図れる素晴らしいリハビリテーションです。私たち、ゆめの里園芸部はこれからも「楽しい」をモットーに様々な野菜と花を育てていきたいと考えております。



### 目次:

- 園芸活動..... 1
- 食のイベント..... 2
- おやつ作り..... 3
- ローソン..... 4
- 創作活動..... 5
- パンリレー、編集後記..... 6





## “食のイベント開催”



～笑顔いっぱい お腹いっぱい～



生活支援員 中園 美奈子

秋空が気持ちよく澄み渡る季節となりました。ゆめの里では食を楽しみとしたイベントを定期的に行っています。5月にマクドナルドのテイクアウト、6月にBBQ、7月に出前(弁当・寿司)、10月にさんまのイベントを行いました。マクドナルドのテイクアウトでは皆さん黙々とハンバーガーにかぶりつきあっという間に完食されていました。

またさんまのイベントでは職員が炭火で焼き食べていただきました。普段は魚嫌いなご利用者も残さず完食されていたことに驚かされました。ご利用者からは「美味しかったよ♪」「またして欲しいな」との喜びの言葉も聞かれました。綺麗に完食され写真撮影に笑顔でピースサインしてくださる姿を見るとイベントを実施してよかったとスタッフ一同嬉しくやりがいを感じております。

今後も食を通して楽しみや笑顔を増やせるようにイベントを計画し、開催していきたいと思います。





# “おやつ作り”

～季節を感じれる美味しいスイーツ～

生活支援員 坂本 美奈子

ゆめの里では、定期的に食を楽しみとしたおやつ作りを行っています。開催前にメニューをご利用者と相談し、6月は紫陽花や梅雨をイメージしたゼリー、7月は抹茶白玉あんみつ、8月はかき氷、9月・10月は、サツマイモやかぼちゃを使用しスイートポテトと羊羹を作りました。

最初は「出来るかな？」と不安な様子も見られましたが、職員と一緒に作る事で不安もなくなり、徐々に夢中になっていかれ笑顔も多く見られました。また、作ったおやつを15時に全部のご利用者に提供し「おいしい」と感想を頂き、参加された皆様は達成感を感じておられました。

コロナの影響で、季節を感じる事が少ない中、旬の食材を使う事で季節を感じて頂ける様工夫を行いました。今後も楽しみとなるよう、支援を行ってまいります。







# “ゆめの里にコンビニ…！？”



～自分で見て、選ぶ楽しみを～



管理栄養士 横山 葉月



ゆめの里では5年ほど前よりローソン移動販売を利用しております。ローソン移動販売サービスとは店舗に来店が困難な高齢者の施設や企業・工場などを訪問し、食品や日用品などの移動販売を実施されている事業です。



ご利用者は外出の機会も少なく移動販売に来て頂く事を毎週楽しみとされており、施設内ホールにて商品を並べ実際のお店の様に手に取り購入して頂く事で自身で選ぶ楽しみをもって頂きたいとの思いで行っております。コンビニにある商品は何でもあり、新製品を毎週持って来て頂いている為様々な品を選ばれ購入されています。店員さんとの会話も広がりとても楽しそうな笑顔がたくさん見られています。おやつはもちろんですがご飯のお供になる品やおかず系を購入される方も多く施設食の摂取量増加にも繋がっているように感じます。



もちろんコロナ感染予防の為にマスクの着用、手指消毒、購入の際は5人以内とし密にならない様感染対策も行い、安全に楽しく参加して頂けるよう努めています。







## “創作活動を通して”



～物を作る喜びや達成感を楽しむ～

生活支援員 坂口 佐貴

ゆめの里では創作活動を月に1～2回行っています。鬼滅の刃の壁飾りや絵はがき等、その時の流行の物や季節を取り入れた作品を作っています。紙を貼ったり糊を塗る作業や、色々なパーツ作り、細かな作業は大変集中力がいることです。しかし、それが創作活動の目的の一つでもあり、手先を使い手順を考えて作り進めることで脳の活性化を図ることができると思っています。物を作る喜びや達成感を楽しみながら、味わって頂きたいと考えています。ご利用者により出来る範囲も違いますので、職員がサポートという形で参加していますが、その時間はとても賑やかです。ご利用者からは「難しいところもあるけど楽しい」との言葉が聞かれ、それぞれ創作活動を楽しまれています。作品は玄関に飾っていますので、お越しになられた際はぜひご覧ください。

今年の希望荘での作品展では「絆」をテーマにウクライナの国旗の色で作った千羽鶴やひまわりの飾りなど、平和への祈りを込めた作品を作りました。世界に平和が訪れる事を願っています。





## ペンリレー



# “やめられない♪とまらない♪”

## ～私の休日の過ごし方～

生活支援員 岩崎 むつみ

やめられない、とまらない、かっぱえびせんも美味しいですが（笑）韓国ドラマが好きで休日は、ごろ～んとしながら見て過ごしています。ロマンスありサスペンスありファンタジーありで見出したら止まらない、ハマったら抜け出せない一人となってしまうました。よくある喧嘩のシーンは水をかけたり髪の毛の引っ張り合ったりと本当にこんな事が!?と私の小さな目が二倍ぐらいになるようなびっくりするシーンがあり私には出来ない事なので、つつい見入ってしまいます。ドラマを見ながら素敵なセリフやシチュエーションに泣いたり笑ったりと良いストレス解消になっています。皆さんは休日どのように過ごされていますか？興味のある方はぜひ韓国ドラマを見て下さいね！

次回のペンリレーは看護部長の原口静美さんお願いします。



障害者支援施設 ゆめの里

熊本市西区河内町野出3-1

TEL : 096-277-3055

FAX : 096-277-2388

E - mail

cms@yumenosato.or.jp

URL

yumenosato.main.jp



### 編集後記

朝晩の冷え込む時期となり、気が付けば残り2か月で大晦日、年越しとなり時の早さを日々感じています。

コロナウイルス流行後、施設外のイベントは中止が続いていましたが、今年は3年ぶりに開催された車椅子ふれあいジョギング大会に参加をしました。青空の下でご利用者一人一人が精一杯レースに取り組み、完走後の笑顔を見るとスタッフも嬉しくなりハイタッチを行い称賛するなど、一緒に楽しい時間を過ごしました。11月には秋祭りを予定しておりご利用者も楽しみにされています。今後も感染状況に合わせ感染対策を行った上で楽しみの場の提供を行っていければと思います。

これから寒くなってきますので皆さん体調管理にはお気を付けてください。

障害者支援施設

ゆめの里